TA7333P

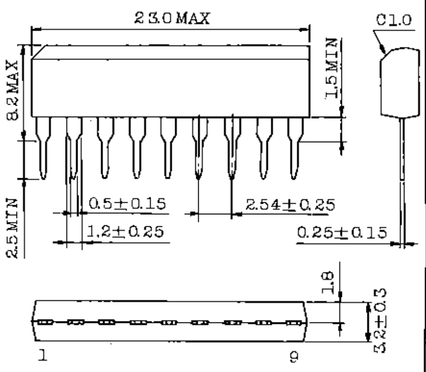
バイポーラ形リニア集積回路シリコンモノリシック

○ ラジオ・コントロール送信用

- 方形波発生回路
- デューティー可変回路
- 搬送波発振回路
- ミキサー回路
- 高周波電力増幅回路

- 受信用 IC TA7657P との組合せが最適です。
- 27MHz および 40MHz の送信システムが1チップで構成でき、4種類の制御モードが得られます。
- 変調周波数を任意に設定できます。
- 動作電源電圧範囲が広い。
  : V_{opr} = 6～10V，推奨 V_{CC} = 9V
- 外付部品が少なくて済みます。

単位：mm



リードのピッチは2.54，公差は№1のリードを基準にして得られる各リードの理論中心に対して±0.25です。

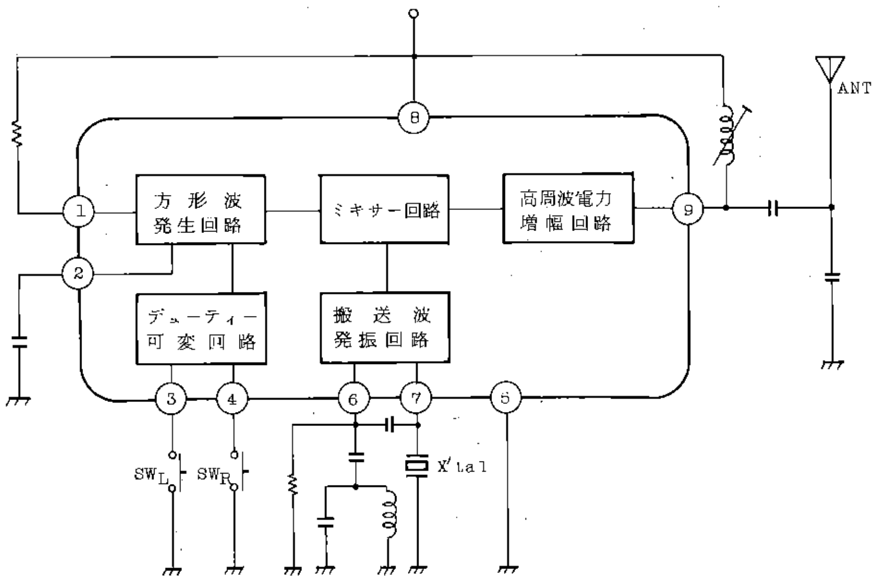
JEDEC	—
東芝	SIP9-P-A

最大定格 （Ta=25℃）

項目	記号	定格	単位
電源電圧	V_{CC}	12	V
9ピン電圧	V_9	18	V
9ピン許容負荷	R_L	300	Ω
消費電力（注）	P_D	600	mW
動作温度	T_{opr}	-25～75	℃
保存温度	T_{stg}	-55～150	℃

（注） 25℃以上で使用する場合は1℃につき4.8mW減じて考える。

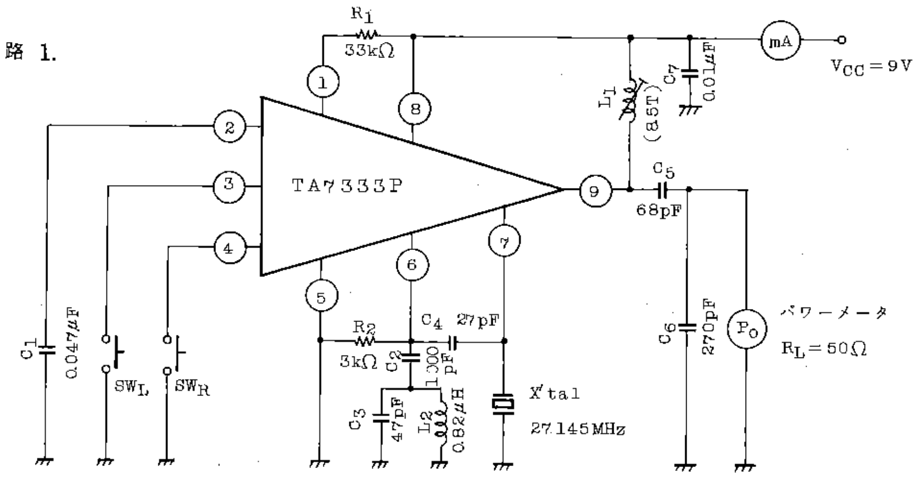
ブロック図



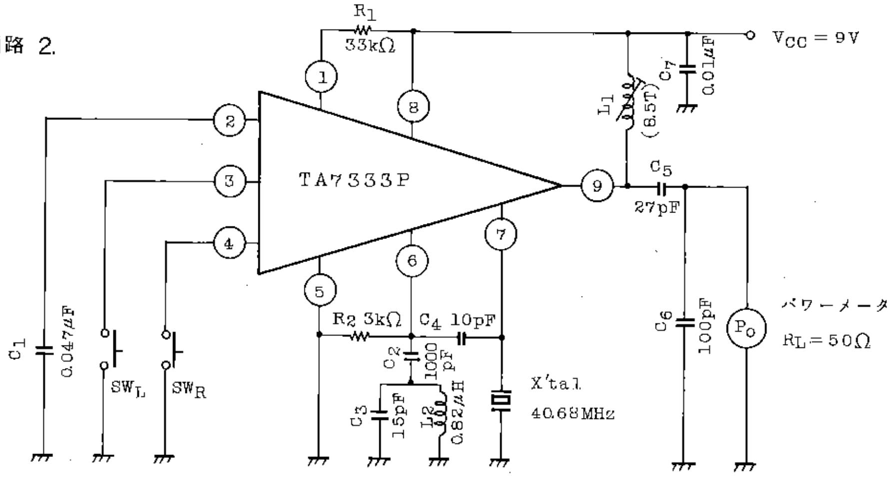
電気的特性（特に指定なき場合，V_{CC}=9V，f_{OSC}=27MHz，R_L=50Ω，Ta=25℃）

項目	記号	測定回路	測定条件	最小	標準	最大	単位
電源電流	$I_{CC(1)}$	1	—	—	18	21	mA
	$I_{CC(2)}$	1	SW_L ON	—	17	—	
	$I_{CC(3)}$	1	SW_R ON	—	14	—	
	$I_{CC(4)}$	1	SW_L，SW_R ON	—	16	—	
送信出力電力	$P_{O(1)}$	1	—	15	20	—	mW
	$P_{O(2)}$	2	f_{OSC}=40MHz	—	17	—	
変調周波数	$f_{m(1)}$	3	SW_L，SW_R いずれか ON	—	2	—	kHz
	$f_{m(2)}$	3	SW_L，SW_R 両方 ON	—	4	—	

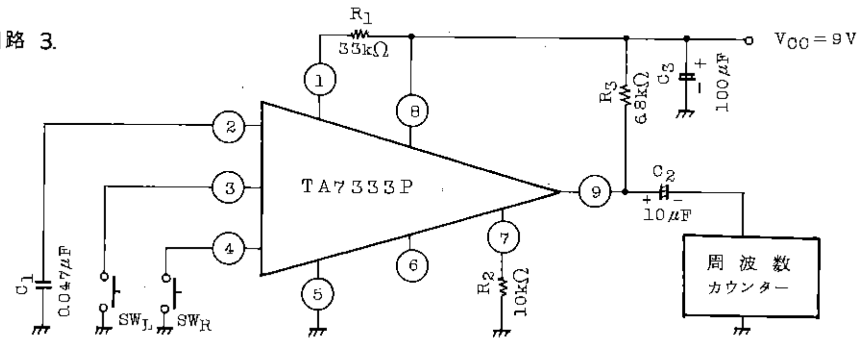
測定回路 1.



測定回路 2.

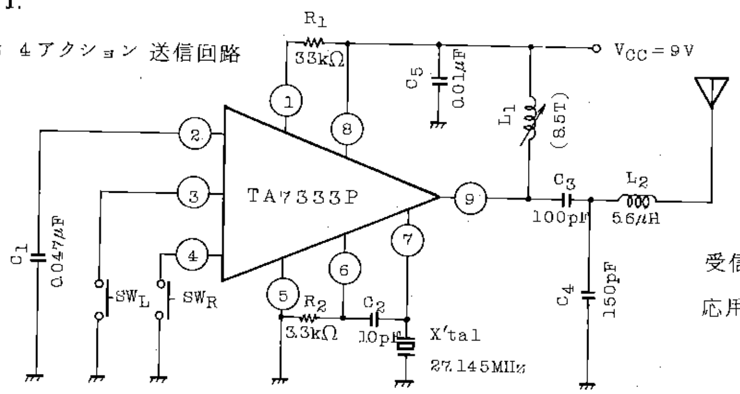


測定回路 3.



応用回路 1.

27 MHz 4アクション 送信回路

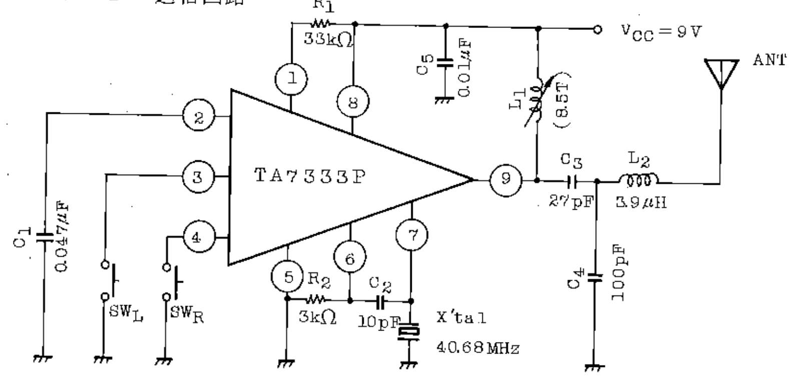


受信回路は TA7657P の

応用回路 1 に相当します。

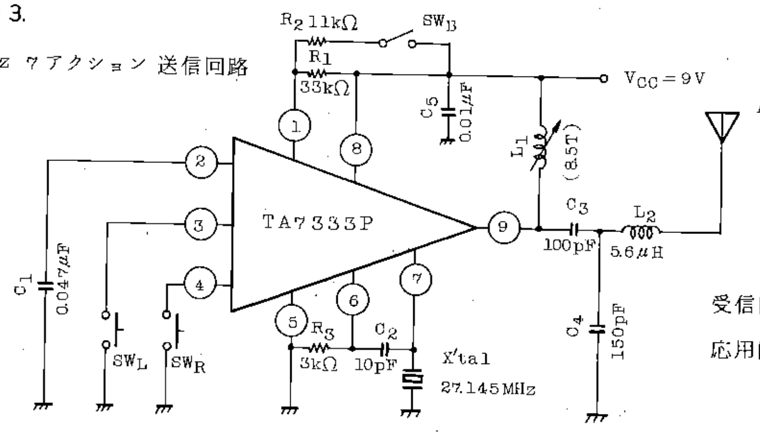
応用回路 2.

40MHz 4アクション 送信回路



応用回路 3.

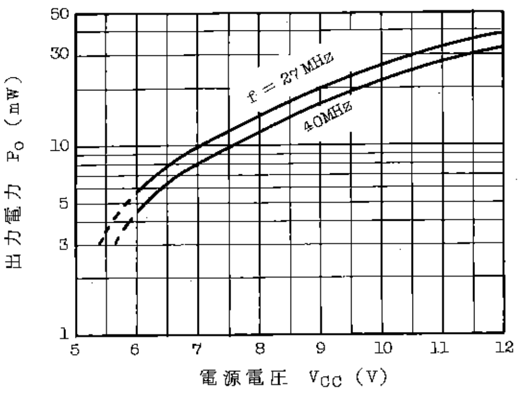
27 MHz 7アクション 送信回路



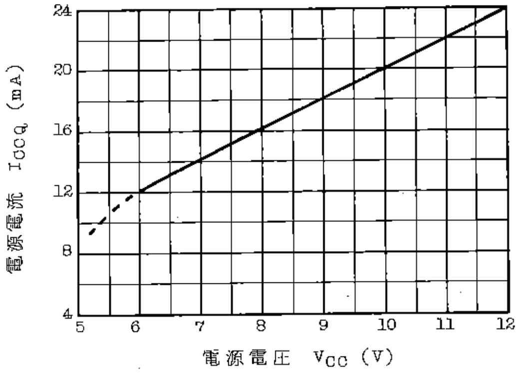
受信回路は TA7657P の

応用回路 2 に相当します。

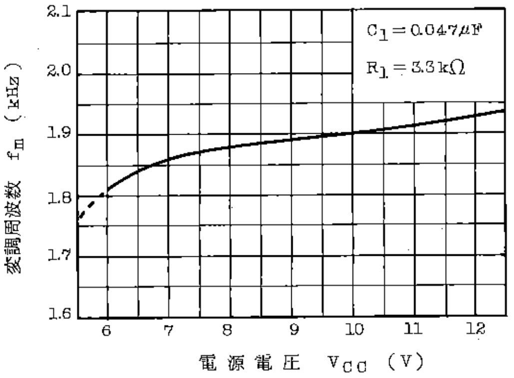
$P_O - V_{CC}$



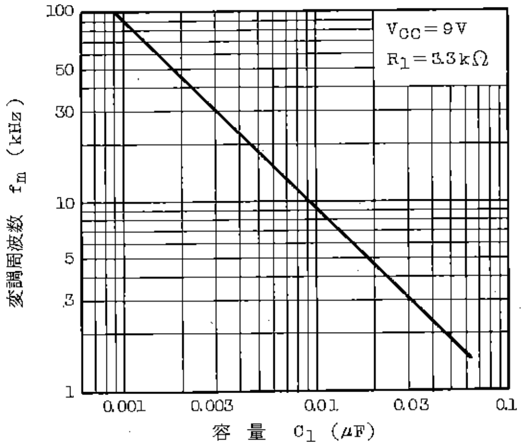
$I_{CCQ} - V_{CC}$



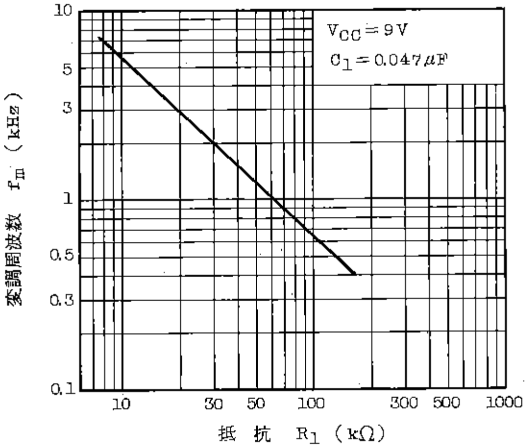
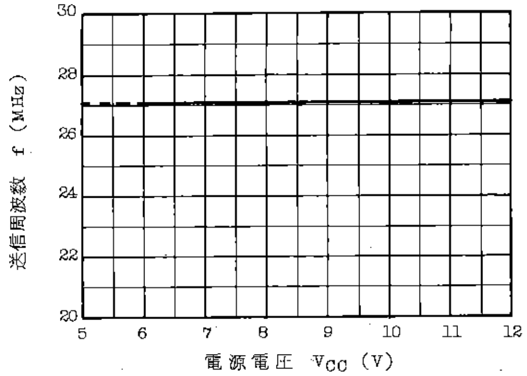
$f_m - V_{CC}$



$f_m - C_1$



$f_m - R_1$



$f - V_{CC}$